



石材用接着剤

耐水用・二液混合形 × エポキシ樹脂系接着剤

現場施工用

EP-1000

ソフトタイプ

財団法人 化学品検査協会合格品 JISA5548



20kgセット(主剤10kg、硬化剤10kg)
竹へら・ベニヤ板付 1梱包=1セット

石材用接着剤

耐水用・二液混合形 エポキシ樹脂系接着剤

現場施工用

EP-1000

■特長

●施工性が良い

従来のエポキシ系接着剤に比べ粘りを抑え、練り易く、コテ切れが良く、作業が容易です。

●ダンゴ貼り施工がしやすい

チクソトロピー性を付与した特殊配合により垂れがなく、コテ切れが良いため、壁面ダンゴ貼り施工に最適です。

●石材污染が少ない

天然石に発生しがちな污染も特殊配合により最小限に抑えています。

■使い方

●下地調整

ホコリ、油分、レタンス等汚れはあらかじめ取り除いて下さい。
(コンクリート面はワイヤブラシ等で、珪カル板等弱い下地は硬毛ブラシで清拭して下さい。)

●混合

主剤と硬化剤を1:1(重量比)の割合で取り出し全体が均一な白色になるまで充分混合して下さい。

主剤、硬化剤の取り出しは別々の道具(金ヘラ、ポリヘラ、ペニヤ板等)を使用して下さい。

●塗布

添付竹ヘラにて石材の裏面へダンゴ付けして下さい

塗布量: 15cm~20cm間隔でダンゴ1点当たり約50g使用して下さい。(30cm角石材の場合: 1枚当たり5点約250g)

ダンゴの盛り付け高さは最終ふかし代の1.5倍以上にして下さい。

(10mm厚調整の場合15mm以上に盛り付けること)

●張り付け

石材は仕上がり方を調整しながら、もみ込む様に押しつけて下地にも良く馴染ませて張り付けて下さい。

最下部の石材の位置決めが最も大切です。仕上がり調整は念入りに行い積み上げる時は、接着剤の硬化を確認後か、又は仮止め(仮止め材の石材汚染に注意)をして下さい。

●養生

石材張り付け後1日以上(20℃)養生し接着剤の硬化を確認してから次の作業(目地詰め等)を行って下さい。

10℃以下では接着剤の硬化が極端に遅くなるため室温をヒーター等で加温して下さい。

■使用上の注意

●体質によって「カブレ」を起こすことがありますので直接皮膚に触れないようにして下さい。(万一皮膚に付着した場合は直ちに拭き取り、石鹼水で良く洗い流して下さい。)

●接着剤により汚染しやすい大理石、及び割れやすい極薄石材(15mm以下)には、セメダイン弾性接着剤(1液型のセメダインPM-165、2液型のセメダインPM-400)をご使用下さい。

●石材汚染防止のために接着剤の配合及び混合は正確に行い、この2液以外の物(溶剤等)は決して加えないで下さい。

●主剤、硬化剤を練り混ぜたものは、可使時間以内に使い切して下さい。

■一般性状

〈性状〉

項 目	ソフトタイプ		ハードタイプ	
	主 剤	硬 化 剤	主 剤	硬 化 剤
外 観	淡赤色パテ状	淡緑色パテ状	淡赤色パテ状	淡緑色パテ状
稠 度 (25℃)	225±20	280±20	230±20	235±20
比 重	1.90±0.05	1.90±0.05	1.90±0.05	1.90±0.05
不 揮 発 分	95%以上	95%以上	95%以上	95%以上
重量混合比	100	100	100	100
可 使 時 間	10℃ 約50分、20℃ 約30分		20℃ 約50分、30℃ 約30分	

〈データ〉ソフトタイプ、ハードタイプ

硬 化 性	24時間後の硬化状態	試験方法
引張り強さ	180Kgf/Cm ²	JIS-K-6911
圧縮強さ	400Kgf/Cm ²	JIS-K-6911
曲げ強さ	290Kgf/Cm ²	JIS-K-6911

■法定表示

警告

有害性



引火性



- 引火性の液体である
- 有機溶剤中毒の恐れがある
- 健康上注意を要する物質を含有している
- 皮膚に付着するとかぶれを起こす恐れがある

【労働安全衛生法による表示】〈含有成分〉エポキシ樹脂25~30% ポリアミアン20~25%

【注意事項】

1. 安全上の注意

- (1) 使用場所の処理: 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けて下さい。また、火気を近づけないで下さい。
- (2) 保護具: 取扱う時は、ゴム手袋など保護手袋、保護眼鏡、防毒または送気マスクを必ず着用して下さい。
- (3) 皮膚付着時: 石鹼水で洗浄して下さい。炎症がおきた場合は医師の診断を受けて下さい。
- (4) 目に入った場合: 直ちに流水で洗眼した後、眼科医の診断を受けて下さい。
- (5) 吸入した場合: 吸入して気分が悪くなった場合は、空気の新鮮な場所に移し、安静にして、医師の手当を受けて下さい。
- (6) 誤飲した時: 無理に吐かせないで、直ちに医師の診断を受けて下さい。口の中は洗い流して下さい。
- (7) 作業後の注意: 作業後は、手洗い、うがいをして下さい。
- (8) 火災時の処置: 燃焼源を断ち、消火剤(粉末、炭酸ガス、泡等)を使用して消火下さい。火は火災を拡大するので使用しない。
- (9) その他: 接着剤硬化物の除去で、粉じんが飛散する場合は防塵マスクを着用して下さい。

2. 取扱い保管上の注意

- (1) 作業前の注意: 使用前によく攪拌して下さい。作業中は、周囲の人を退避させて下さい。
- (2) 漏洩時の処置: 付近の着火源を取り除き、漏洩した接着剤を空容器に回収後、更におがくず、ウエス、乾燥砂に吸収させ、回収して下さい。
- (3) 廃棄方法: 内容物及び使用済み容器を廃棄する場合は、都道府県条例に基づき焼却するか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託して下さい。
- (4) 環境への配慮: 海、河川、湖沼、池、下水道、公共用水等へ流入すると、広範囲にわたり、汚濁、汚染することとなります。絶対に廃棄したり、誤って流入させないで下さい。また、地下水を汚染する恐れのある地中には捨てないで下さい。
- (5) 保管・貯蔵上の注意: 35℃以下で、直射日光の当たらない冷暗所に保管して下さい。火気、熱源から遠ざけて貯蔵して下さい。開缶後の使用残は、缶のキャップを確実に締め、密閉した状態で保管して下さい。また、子供の手の届かない場所に保管して下さい。
- (6) 使用上の注意: 接着など本来の用途以外に使用しないで下さい。

※その他、詳細は「製品安全データシート」を参照するか下記へご連絡下さい。

★お願い (1) 本文中のデータ(数値)は当社の試験及び研究調査によるものであり、ご使用に際しては、使用目的、条件をご確認の上、お使い願います。(2) 掲載商品の外装・仕様等が断り無く変更される場合があります。

商品に関するお問い合わせは ☎ 0120-58-4929

●お求めは



接着剤とシーリング材の総合メーカー
セメダイン株式会社

本 社 〒141-8620 東京都品川区東五反田4-5-9 ☎(03)3442-1343
東京支社 〒141-8620 東京都品川区東五反田4-5-9 ☎(03)3442-1301
大阪支社 〒542-0081 大阪市中央区南船場1-16-10 大阪岡本ビル8階 ☎(06)4964-5330
名古屋支社 〒464-0026 名古屋市千種区井上町34 ☎(052)781-3166
札幌営業所 ☎(011)271-4929 北関東営業所 ☎(0285)22-1291 福岡営業所 ☎(092)273-2070
仙台営業所 ☎(022)284-6167 広島営業所 ☎(082)249-0941

<http://www.cemedine.co.jp/>

商品に関するお問い合わせ先: 接着技術相談センター

TEL (03) 3442-1311 FAX (03) 3442-1302